

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肺癌オリゴ転移、再発に対する治療戦略

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 鈴木恵理子（呼吸器外科・医師）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2023年10月5日～2023年12月末

目的：Oligometastasisは、転移病巣数が限られており進行期（IV期）肺癌であっても局所治療の追加によって生存の延長が期待される転移とされる。再発、遠隔転移をしても癌細胞が全身播種（全身に広がること）に至らず、原発巣と単発の転移巣のみにとどまっているという概念であり、全身療法ではなく、原発巣と転移巣の両者の局所治療で根治が得られるという報告がある。一方、現状では、その定義や局所治療の具体的な方法に明確なコンセンサス（合意）がない。このため、当院で治療を施行したoligometastasisを伴うStage IV期肺癌と再発症例の治療成績等をまとめ、報告する。

方法：診療記録を用いた観察研究

■ 対象となる患者さん

2010年1月～2019年12月に当院で肺癌切除術を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：以下の情報を診療記録から取得する。

- ①臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、臨床病期 等）
- ②血液所見（肝腎機能、白血球分画、腫瘍マーカー 等）
- ③画像所見（胸部レントゲン、CT、MRI、PET検査 等）
- ④病理学的所見（病理病期、組織型、免疫組織学的所見 等）
- ⑤治療（術式、周術期治療等）
- ⑥予後、再発後治療 等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

鈴木恵理子、呼吸器外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971